

文法を楽しく!!

「他動詞・自動詞」(2)

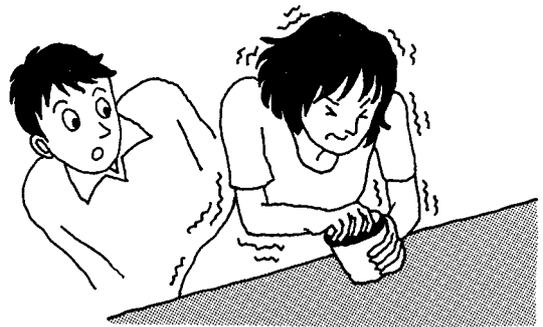
通信で習った項目: 他動詞・自動詞、受身、やりもらい、～てきた、～ていく、～ている、～てある、
～ために、～ように、～たら、～と

前回は他動詞・自動詞の基本的な使い方について説明
しました。今回はもう少し突っ込んで考えてみましょう。
前回出した宿題はできましたか。宿題は次のようなもの
でした。

【宿題】 () の中にはどんな動詞が来ればいいでしょ
うか。 < > から選んでください

問題 1: プラスチック製品は (①) にくい。上
から落としても、なかなか (②) ない。
< 割る / 割れる >

問題 2: 先週の試合で、日本チームは 2 対 1 でイラン
チームに (③) 。
< やぶる / やぶれる >



「開けることができない」「開けることができた」という
可能の意味合いを含んでいます。

さて、「会話」はどんな状況の会話で、だれとだれが
話しているのでしょうか。

(状況)
(話している人)

「会話」では A も B も普通体を使っているので、二人
は家族が友達でしょう。A がびんのふたを開けようとし
ているけれども開かない状況ですね。

宿題の問題 2 では、焦点が日本チームに置かれている
ので、自動詞「やぶれた」を使います。皆さんの中には
受身の意味合いが入っていると考えて、「やぶられた」
とした人がいるのではないのでしょうか。たしかに受身の
意味合いが入っていますが、「やぶられた」とする必要
はなく、「やぶれた」が正解です。

このように自動詞は可能の意味も持つことも多いけれ
ど、場合によっては受身の意味も持つこともあります。
これは動詞自体の意味や場面の状況によって変わって
くるようです。

(問題 2 では「やぶれる」とひらがなを使いましたが、
試合などに負けたときには多くの場合「敗れる」とい
う漢字が使われます。紙や布が「やぶれる」の意味では
「破れる」が使われます。)

問題 2 では、「敗れる」の代わりに、「負ける to be
defeated」を使って表すこともできます。

答は ① 割れ、② 割れ、③ やぶれた です。
問題 1 ではプラスチック製品に焦点が置かれているの
で、①②とも自動詞「割れる」を使います。①では割る
人を中心に考えれば「割り(にくい)」でも間違いでは
ありませんが、人がわざわざプラスチック製品を割ると
いう状況はあまりないので、「他のガラス製品や陶器に
比べて割れ(にくい)」と考えるほうが自然です。
②では可能の「割ることができない」と重なって、
「割られない」とした人がいるかもしれません。しかし、
日本語の自動詞には可能の意味が含まれていることが多
く、「割る」では、自動詞も「割れる」、可能動詞も「割
れる」になります。次の会話を見てください。

【会話】
A: ああ、固い。
B: 何してるの。
A: このびんのふたを開けようとしている
んだけど、開かないの。
B: 貸してごらん。…固いね。
…あ、開いた。開いたよ。

「会話」の A の「開かない」、B の「開いた」は自動詞で、
もの(びん)に焦点が置かれた言い方になっていますが、

(1) 先週の試合で、日本チームは2対1でイランチームに負けた。

では次に、自動詞・他動詞のおもしろい使われ方を見てください。

電車が入ってくるプラットホームでは次のようなアナウンスを聞くことが多いです。

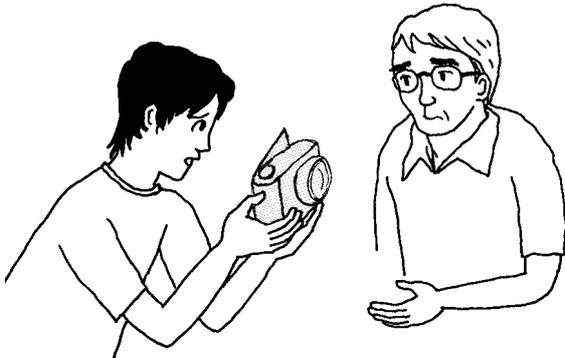
(2) 電車のドアが閉まりますので、ご注意ください。

電車のドアは車掌か運転手がボタンを押して操作しているわけですが、「(私が) 電車のドアを閉めます」とは言わずに、ドアを主体のように表しています。これは他動詞(閉める)を使わないで、自動詞(閉まる)を使うことによって、ものごとが自然にそうなるといえるのです。

次のようなときには、他動詞を使うか自動詞を使うかで意味合いが変わってきます。

人から借りたカメラがこわれてしまったとき、皆さんは貸してくれた人にどう言って謝りますか。

- (3) a. お借りしたカメラがこわれてしまいました。すみません。
b. お借りしたカメラをこわしてしまいました。すみません。



aは自動詞「こわれる」を使っているため、カメラが勝手にこわれてしまったような印象を与えます。一方、bは他動詞「こわす」を使って、自分がこわしたような言い方をしています。どちらのほうが、カメラを貸した人へのお詫びの気持ちが強いでしょうか。

そうです。bです。仮に自分がこわしたのではなくbのように自分がしたという形で表すことで、自分が責任を感じているという誠意を表すことができます。

このコーナーの担当者：市川保子(日本語国際センター客員講師)

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。

「ヤスコの日本語ハウス」という個人のホームページを開いています。英語の翻訳も付いていますので、ぜひ活用してください。ホームページのアドレスは、<http://homepage3.nifty.com/i-yasu/index.htm>です。

他動詞・自動詞の勉強の最後に、皆さんと同じ外国人学習者が作った文を見てみましょう。下線の部分は間違っているため、正しい答を()の中に入れてください。

- (4) 2月にコースが始めました。
→ ()
(5) (私は) 手紙を書くとき、涙を出します。
→ ()
(6) 成績によっていい仕事を見つけるかどうかが決まります。→ ()
(7) 大学時代の流行に合わせて、私は髪が肩に垂れたり、あごひげを生やしたりしました。
→ ()

できましたか。正解は次のようです。

- (4)' → 2月にコースが始まりました。
(5)' → (私は) 手紙を書くとき、涙が出ます。
(6)' → 成績によっていい仕事が見つかるかどうか決まります。
(7)' → 大学時代の流行に合わせて、私は髪を肩に垂らしたり、あごひげを生やしたりしました。

(4)は「2月にコースが…」ですから他動詞「始める」は使えません。自動詞「始まる」を使います。(5)は「涙を出す」ではなく「涙が出る」になります。(6)では、「仕事が見つかる」ことが、成績によって決まるという意味なので、「仕事を見つける」ではなく「仕事が見つかる」になります。(7)は「～たり～たりする」という文の形を使っています。「aたりbたり」ではaとbは並列的(「テレビを見たり本を読んだり」のように同じレベルの意味を持つ表現を並べる)、または、対照的(「行ったり来たり」「食べたり食べなかったり」のように反対の表現を並べる)になります。他動詞・自動詞の観点から言うと、「aたりbたり」ではaとbは両方とも他動詞か、両方とも自動詞にする必要があります。学習者の文のように、aが自動詞「垂れる」でbが他動詞「生やす」ではバランスがとれません。「私」の意志で「ひげを生やす」のであれば、同じように他動詞を使って「(肩に)髪を垂らす」にする必要があります。

参考文献

市川保子(2005)『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク

松岡弘監修(2000)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク